

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○				○	○		○		○		○	

企業の概要

企業・団体名	ムーンムーン株式会社	本社所在地	熊本県
業種	小売業	総従業員数	10名
事業概要	快眠グッズの企画販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク規程
テレワーク担当部署	総務経理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	10名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

2016年4月の熊本地震の際に、オフィスが被災して使用できず社員宅にて業務を行ったことがきっかけとなり、その後家庭の都合など(子ども・家族の看病など)で、出勤が難しい日は在宅での勤務を許可していた。そのような経緯もあり、本年3月には、新型コロナウイルスの感染予防対策としてスムーズに在宅勤務を実施。その後も、災害時・天候(台風など)・従業員の状況等を判断しながら、臨機応変に全体や個別で在宅勤務への切り替えを実施している。また、以前より業務に必要な社内・社外とのやりとりを、コミュニケーションツールで行うようにしていたことで、テレワーク切替時も、難なくコミュニケーションを取ることができた。

テレワークの概要・特徴

【概要】

家庭の都合(子ども・家族の看病など)、本人の体調で出勤が困難な場合は申し出により、テレワークを許可する。また、災害・天候などにより、出社が困難と会社が判断した場合、テレワークへ切替を行う。業務に必要なパソコン等は、会社より貸与する。給与・勤務時間は、出社時と同内容とする。

【特徴】

在宅における業務の開始および終了時は、通常行う勤怠管理システムでの打刻に加えて、コミュニケーションツールで報告しあうことで、個々の状態を把握している。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

電話対応⇒メール対応に変わったことで、時間配分がしやすくなり計画的に業務を進めやすくなった。